

プロジェクト科目 議事録

2006年 06月 15日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 B	学生 ID —
日時	2006年 06月 12～15日 (月～木) 12:15 ~ 13:15
場所	寒梅館和室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・WS企画書関連 ・WS実施に向けてしなければならないこと(タスク表の作成含む) ・対外的なこと(授業参観、能楽師さんとの交渉等) ・リーダーの交代
参加者(1回でも参加)	A、B、C、E、F、G、H、I、T
記録	<p><企画書改案について></p> <p>◎企画内容</p> <p>タイトル:「ハロー!”know”祭り～夏祭りで能を体感しよう～」(仮)</p> <p>◆ブース</p> <p>①型・謡・舞台体験ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブースの形態 1ブース: 20人 25分×3 2ブース: 例 ①金剛流 10人 25分×3 <li style="padding-left: 20px;">②観世流 10人 25分×3 <p>☆問題点: 実施場所は確保できるか? 能楽師さんの負担は? 児童の誘導は? など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 型: シオリ+仕舞、足を踏み鳴らす 謡: <u>覚えやすさが重要</u> <ul style="list-style-type: none"> ・平家物語、「安宅」「巴」など抑揚があるものの方が定着しやすい ⇨抑揚がないほうが教えやすい ・能楽部で、初心者が最初に習う「鶴亀」はどうか * 能特有の“ゆっくり”を体験してもらう 舞台: 展示ブースに移動して体験(③参照) <p>②太鼓体験ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～5人 10分 ・音+姿勢+声

③展示ブース

- ・型・謡・舞台体験ブースに児童が殺到するのを防ぐために、実施場所をアリーナ(体育館)にして、模擬舞台(縮小版)を設置、そこで面を体験してもらう
- ☆問題点：面は視野が狭く、周りに展示物を置くと、ぶつかる危険性がある
(更なる話し合いが必要)
- ・その際、能楽師と感覚を共有してもらうために柱のサイズを検討する

④紙芝居ブース

⑤P C学習ゲームブース

- ・内容は5分でゲームを終えられるものにする。
 - ・楽器：音を使う場合、著作権の問題が発生する。能楽協会に確認すること。
 - ・面：福笑い(著作権については同上)
 - ・装束：装束の写真を使った着せ替え(著作権については同上)
- (参考：「能楽ランド」 <http://www.nohgakuland.com/index.htm> ByB)

◆実施場所

- ①型・謡→アリーナの半分と多目的室(1F)(2ブースの場合)
- ②太鼓→音楽室(2F)または多目的室(1F)(型・謡が1ブースの場合)
- ③展示→アリーナの半分
- ④紙芝居→図書室
- ⑤P C→教室

◆備考

- ・開会・閉会式実施のため、プログラムに使用できる時間は実質1時間40分
- ・児童のグループ割りは4~5人(理由：太鼓ブースにグループ単位で参加できるようにした方が良いのではという意見から)
- ・スタンプラリーカードをあらかじめ数種類作り、それによって型・謡と太鼓ブースの誘導をする。(カードに2つのブースに行く順番を示しておく、など)
- ・全てのブースを回るのが時間的に不可能な場合、型・謡、太鼓、展示(体験)ブースの3つをまわることを必須にし、残り2つのブースは自由扱いにする
- ・コンテンツが残るもの(紙芝居、P Cゲーム)はWS終了後、小学校側に寄贈
- ・閉会式で終了証等を渡し、達成感を演出する
- ・WSの感想を絵日記等の形で宿題に加えてもらう(WSの効果を分析するため)

◎企画書の内容の重要事項(小学校に提示すること)

- ・各ブースの目的
- ・WSの目標：最終目標は能楽を通じて「自分の国の文化をよく知る」きっかけにする
- ・児童の動きのモデルケース

<対外関係>

◎交渉 対能楽師

- ・囃子方(太鼓)と交渉→観世流能楽師 a を通じて連絡
- ・金剛流能楽師 a、観世流能楽師 a →企画書出来次第、企画会議を実施。

◎交渉 対学内協力者

- ・浴衣の着付け(小学校でも出来るように)→サークル(茶道部等)に依頼するか
- ・紙芝居の絵画制作協力→絵画サークルに依頼。すでに4人(1回生1人、2回生2人、4回生1人)決定。今週から来週にかけて打ち合わせと画材、資料等の引渡し予定。現在それに伴う資料調達中。

◎授業参観

- ・参観の形態：いくつかのグループに分かれて、数日間にわたって参観するのはどうか
- ☆問題点：先生方に迷惑がかかる、数回にわたるとしても参加できるメンバーがほぼ決まっている、など
- ・Eが新たな希望日程を含んだ督促メールを送信予定

<WSに向けてすべきこと>

◎タスク表の作成…Gが簡単なものを作って持参。そのアイデアを元にBが土台を作成

◎今考えられるタスク

- 1、企画書の内容を詰める
- 2、事前・事後学習の必要性とその内容
(事前：講師を呼ぶ場合、交渉する時間がないのでVTR上映にするか?)
- 3、著作権等の問題：渉外が担当
- 4、協力者の募集→学内に掲示する：広報が担当
- 5、マスコミへの広報→プレスリリース：広報が担当

<連絡>

◎金曜の議題

- ・リーダー辞任に伴って、新リーダーを早急に決定する
- ・タスク表作成
- ・昼休み会議の位置づけ
- ・企画書の内容
- ・協力者の募集

◎金曜 観世流能楽師 a 来校

- ◆15:30来校予定

◆議題

- ・ 一度に教えらるる児童の人数はどれくらいか
- ・ 2時間で指導できる回数は？
- ・ 企画内容(ブース)について
- ・ 能楽教室で子供に教えた経験から、内容についてのアドバイスをもらう
 - * 昼休み会議にて再考予定
 - * 会議までに各自考えてくること

◎名刺作成の件

I にオファー済み